

経済産業大臣賞 「事業所・地方公共団体等」分野	受賞者名
	株式会社東芝 セミコンダクター&ストレージ社 大分工場
	所在地
	大分県大分市
受賞テーマ	
「全員参加の 3R 活動と 3R で近隣住民とのコミュニケーション」	

3,000 人を超える工場では、環境意識の末端までの定着はとても難しいが、同工場では、全員参加活動を展開し、従業員一人ひとりの分別意識を上げることで、3R を推進している。

また、99.9%以上のリサイクル率を実現するために、廃棄物を 150 種類以上に分別している。

◆全員参加の 3R 活動

1. 私物ごみ持ち帰りの徹底

ごみが移動するという考え方ではなく、ごみを出さない活動（マイボトル・マイ箸化）の一貫として、職場で、ごみ箱の撤去、私物ごみのチェック、マイボトルのアンケート調査を実施。その結果、マイボトル率は 2010 年の 28%から 2011 年には 68%（内、ほぼ毎日持参 48%）へと 40%向上した。



2. 有価値化推進と有価物付加価値向上

経営に役立つ環境を目指し廃棄物の有価値化を推進し、現在、廃棄物を 73 種類に分別している。

①素材別分別の導入： 以前は、廃プラスチックは、全て「廃プラ」としてリサイクルしていたが、「PC: ポリカーボネイト」や「PP: ポリプロピレン」、「PE: ポリエチレン」などの素材別分別を取り入れた結果、2011 年度には 1 億 4 千万円の有価売却額があった。

②お宝探せ： 3R 推進月間を利用し、事務所や倉庫を巡回し、不要物がいくらで売却できるかを査定した。この取組を「お宝を探せ」と命名、分別すれば資源として売却できることを PR し、5S（整理、整頓、清掃、清潔、躰）にも繋がった。売却益を職場に戻すことでも分別を促進している。

3. 従業員の 3R 見学会の開催

工場の分別状況やリサイクルについて学んでもらうために、固形燃料工場の見学会を実施し従業員の意識向上を図り、職場の分別徹底に役立てた。

4. 3R 宣言

工場長・全部門長・常駐会社所長による 3R 宣言を実施し、23 枚の宣言書を HP で公開した。各部門では部門長の宣言に従い 3R 活動を実行した。

5. リユースショップ

2008 年から Web 上での「リユースショップ」を構築し、建屋間の情報共有を図り、リユースを促進した。

◆3R で近隣住民とのコミュニケーション

他にも、近隣住民と 3R でコミュニケーションし、「Eco 楽集会 (エコがくしゅうかい) の実施」「健康増進とコラボしてゴミ拾い (歩け歩け大会)」「環境出前授業の実施」「Eco バザーの開催」を実施している。